

学 校 法 人 新 庄 学 園

新 庄 東 高 等 学 校

令和4年度

第2学年Tコース

教科目学習計画

～ 校 訓 ～

“自らの手で人生を開拓しよう”

それは努力によって そして方法を考えて すべて敬虔な態度で

教科	国語	科目	現代文	学年	2	コース	T	単位数	2	担当者	前島 英
使用教科書	東京書籍 「新編現代文B」										
副教材											
目 標	<p>近代以降の様々な文章を的確に理解し、ものの見方、感じ方、考え方を深め、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育成する。</p> <p>①【知識、技能】言語文化および言葉の特徴や、漢字などについて理解し、知識を身につける。</p> <p>②【思考、判断、表現】目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめる力を身につける。</p> <p>③【主体的に学習に取り組む態度】国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、その向上を図ろうとする態度を養う。</p>										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	随想「さくらさくらさくら」	8	8	評論「安心について」	10	1	信濃路（短歌）	7
5	小説「みどりのゆび」	9	9			2	小説「旅する本」	9
6	評論「『ふしぎ』ということ」	9	10	小説「ナイン」	9	3		
7	評論「『ふしぎ』ということ」		11	「分からないからおもしろい」	9			
			12					

教科	国語	科目	古典	学年	2	コース	T	単位数	2	担当者	菅野 裕美 荒木 正人
使用教科書	東京書籍「新編古典B」										
副教材											
目 標	<p>古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>①【知識、技能】 古典の理解に役立てるため、伝統的な言語文化の語句の意味や用法、文の構造を理解し、知識を身につける。</p> <p>②【思考、判断、表現】 古典を読んで内容や思想、感情を展開に即して的確に捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにし、自分の考えを深める。</p> <p>③【主体的に学習に取り組む態度】 古典を読む力を進んで高め、作品の価値を自ら考察し、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深める。</p>										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	説話『宇治拾遺物語』 ・小野篁、広才のこと	5	8	随筆「徒然草」 ・神無月のころ ・丹波に出雲といふ所あり	1 2	1	小倉百人一首	10
5	日記『土佐日記』 ・馬のはなむけ	8	9			2	奥の細道	8
6	・帰京		10	物語「竹取物語」 ・火鼠の皮衣 ・天の羽衣	1 0	3		
7	故事と小話 ・知音 ・蛇足	7	11	唐詩	1 0			
			12					

教科	地歴	科目	地理 A	学年	2	コース	T	単位数	2	担当者	星川昇
使用教科書		帝国書院 高校生の地理 A									
副教材		帝国書院 新詳高等地図									
目 標		<p>I ①地理情報システム (GIS) やデータ資料をもとに、地理的事象について理解することができる。</p> <p>②地理的視点から、世界の諸地域の生活文化への理解を深めることができる。</p> <p>II ③文化、産業、経済の分野と地理条件を関連づけて、論理的に説明することができる。</p> <p>III ④自分から学ぶ意欲を持って学習に臨むことができる。 ⑤他の生徒との学び合いに積極的である。</p>									
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	導入 オリエンテーション 日本地理・世界地理	1 4	8	3 章 世界の諸地域の生活・文化 1 節～11 節 ジグソー法学習	10	1	2 章 日本の自然環境と防災	6
5	第 1 部 現代世界の特色と世界の諸地域の課題		9			2	3 章 身近な地域の課題と地域調査	6
6	1 章 旅からとらえる現代世界	6	10		10	3		
7	2 章 世界の自然環境と文化 1 節 地形 2 節 気候 3 節 文化	4 6 2	11	4 章 地球規模で広がる課題				
			12	第 2 部 身近な地域の課題 1 章 身近にある様々な地図	5			

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	2	コース	講座 2	単位数	4	担当者	加藤 達也 中島 大輝
使用教科書	改訂版 高等学校数学Ⅱ (数研出版)										
副教材	REPEAT 数学Ⅱ (数研出版)										
目 標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようとする態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備 考	レポートや口頭試問を実施する際は、実施前に評価基準の詳細を提示する。										

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	数Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算	15	8	第2節 高次方程式	20	1	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	10
5	第2節 等式と不等式	10	9			2	第2節 対数関数	10
6	数Ⅰ 第5章 データの分析	10	10	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	20	3		
7	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	15	11	第2章 円	20			
			12	第3節 軌跡と領域	10			

教科	数学	科目	数学 II	学年	2	コース	講座 3	単位数	4	担当者	片山 領典
使用教科書	改訂版 高等学校数学 II (数研出版)										
副教材	REPEAT 数学 II (数研出版)										
目 標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備 考	○レポートの評価の観点 1, 数値の計算が正しいか 2, 定理・定義が適切に使われているか 3, 図やグラフが適切に使われているか 4, まとめがしっかりかけているか 5, 字は丁寧に書いているか ○授業毎の振り返りテストの取り組みを A・B の 2 段階で評価します。										

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	第 1 章 式と証明		8	第 2 節 高次方程式		1	比・割合・単位換算	20
	第 1 節 式と計算	12	9	・剰余の定理と因数定理	4	2	図形の性質 空間図形	10
5	・3 次式の展開と因数分解	8		・高次方程式	8			
	・整式の割り算	8	10	第 3 章 図形と方程式	12	3		
6	・分数式とその計算			第 1 節 点と直線	16			
	第 2 章	11	11	第 2 節 円				
7	第 1 節 複素数と 2 次方程式の解	6		分数	3			
	・複素数とその計算		12	倍数・約数	12			
	・2 次方程式の解			四則計算				
	・解と係数の関係							

教科	理科	科目	生物基礎	学年	2	コース	T	単位数	2	担当者	丸橋 慎吾
使用教科書		数研出版 改訂版 新編 生物基礎									
副教材		数研出版 改訂版 新編 生物基礎 準拠ノート まとめと問題									
目 標		①日常生活や社会とのかかわりを考えるための科学的素養を高める。 ②グループワークを通して、チームワーク力を身に付ける。 ③生物学的事象を論理的に考察することができる。 ④生物学的事象を論理的に表現することができる。 ⑤生物学的事象の問題点を分析し、解決策を考案することができる。									
備 考											

1 学期				2 学期				3 学期			
月	単元		時数	月	単元		時数	月	単元		時数
4	第1編	生物と遺伝子		8	第2編	生物の体内環境の維持		1	第5章	生態系とその保全	
	第1章	生物の特徴			第3章	生物の体内環境とその維持			第1節	生態系とその成り立ち	4
	第1節	生物の多様性と共通性	4		第1節	体内環境としての体液	3	2	第2節	物質の循環とエネルギーの 流れ	4
5	第2節	エネルギーと代謝	3	9	第2節	腎臓と肝臓による調節	3				
	第3節	光合成と呼吸	4		第3節	神経とホルモンによる調節	4	3	第3節	生態系のバランスと保全	6
6	第2章	遺伝子とそのはたらき		10	第4節	免疫	6				
	第1節	遺伝情報とDNA	3		第3編	生物の多様性と生態系					
	第2節	遺伝情報の発現	3		第4章	植生の多様性と分布					
7	第3節	遺伝情報の分配	6	11	第1節	植生とその成り立ち	3				
					第2節	植生の移り変わり	3				
				12	第3節	気候とバイオーム	6				

教科	保健体育	科目	体 育	学年	2	コース	E A S T	単位数	2	担当者	齋藤 真範
使用教科書											
副教材											
目 標		<p>各種の基本動作を習得し、基本体力の向上をはかる。また、安全と事故防止に注意し、互いに協力し合って練習・競技・ゲームができるようにする。自分の健康・体力に関心を持ち進んで運動する習慣を養い、生涯にわたって運動に親しむ基礎をつくる。</p> <p>①. 授業に積極的に参加し各種目の特性に関心を持ち取り組んでいる。</p> <p>②. 自分の能力に応じた目標や課題を持ち行っている。</p> <p>③. グループ練習やゲームで仲間と共に課題を持ち練習している。</p> <p>④. パスなどの基本的な動作をスムーズに行うことができる。</p> <p>⑤. 各種目の特性、ルールを理解している。</p>									
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	・オリエンテーション、整列柔軟、補強運動	3	8	・柔軟、補強運動	2	1	・柔軟、補強運動	2
5	・スポーツテスト	5	9	・バレーボール	12	2	・選択種目（屋内）フットサル、バスケットボール、バドミントン、卓球	3
6	・陸上競技（短距離走 走り高跳び）	8	10	・選択種目（屋外）サッカー、ソフトテニス、ソフトボール、グランドゴルフ	4	3	・マット運動	10
7	・選択種目（屋外）サッカー、ソフトテニス、ソフトボール、グランドゴルフ	4	11	・バスケットボール	12		・スキー（アルペン）1, 2 年	18
			12	・選択種目（屋内）フットサル、バスケットボール、バドミントン、卓球	4			

教科	保健体育	科目	保健体育	学年	2	コース	E A S T	単位数	1	担当者	阿毛 清夏 佐藤 健
使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)										
副教材	現代高等保健体育ノート(大修館書店)										
目 標	I ①年齢とともに変化する心と体に応じた健康について学ぶ。 ②私たちを取り巻く自然環境や社会、制度の理解を深め、健康な生活を実現できるようにする。 II ③授業を振り返り、要点をしっかりとまとめレポートを作成できるようにする。 III ④授業内容をノートにまとめ、整理できるようにする。										
備 考	将来の生活のために役立つだけでなく、共に生きる他の人々や健康づくりや体育・スポーツ活動にも活かせるような学習内容にする。										

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	・オリエンテーション ～保健編2～「生涯を通じる健康」	1	8	9. 医療制度とその活用 ～1 1. 様々な保健活動や対策	3	1	クロスワード3 ★3学期まとめテスト 答案返却・解説	2 2
5	1. 思春期と健康～5. 家族計画と人工妊娠中絶 DVD「思春期と性」「性感染症・エイズ予防」	5 1	9	クロスワード2 ★2学期まとめテスト① 答案返却・解説	2	2	～体育編より～ オリンピック 競技(種目)紹介レポート	6
6	★1学期まとめテスト 答案返却・解説	2	10	～保健編3～「社会生活と健康」 1. 大気汚染と健康	2	3		
7	6. 加齢と健康 ～8. 保健制度とその活用	3	11	～5. 食品衛生活動のしくみと働き ★2学期まとめテスト② 答案返却・解説	5 2			
			12	6. 食品と環境の保健と私たち～7. 働くことと健康 8. 労働災害と健康 9. 健康的な職業生活	4			

教科	家庭	科目	家庭総合	学年	2	コース	S T	単位数	2	担当者	谷 紀子
使用教科書		新家庭総合									
副教材		新家庭総合 準拠ノート									
目 標		①人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。 ②家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。									
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	青年期の自立と家族	16	8	衣生活と自立 なぜ服を着るのか 衣類材料と構成	4	1	食生活と自立 食生活を見つめよう	16
5			9			2		
6	高年齢期の生活	4	10	被服製作 (エプロン)	16	3	栄養素と食品 (実験実習・基礎調理実習)	6
7			11			1		
	学んだことを活かそう (ホームプロジェクト)	2	12	これからの衣生活 食生活と自立	3			